

令和8年度 鹿児島県高病原性鳥インフルエンザ防疫演習

日時 令和8年 10 月 1 日(木) 13 時 30 分～15 時
場所 鹿児島県獣医師会から Web 配信

主催:鹿児島県

共催:(公社)鹿児島県獣医師会
(公社)鹿児島県家畜畜産物衛生指導協会
鹿児島県養鶏協会



令和8年10月1日
オンライン

令和8年度
鹿児島県高病原性鳥インフルエンザ防疫演習



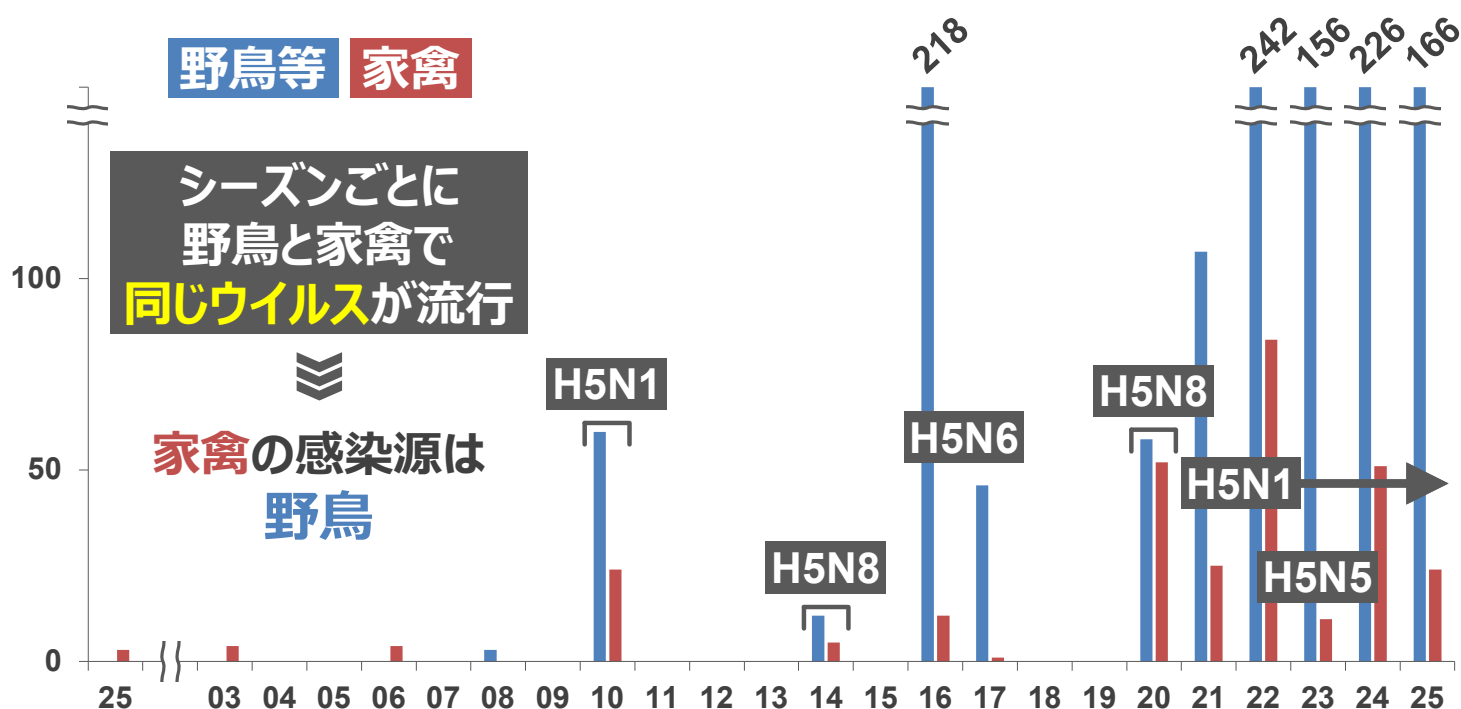
鳥インフルエンザの最新知見



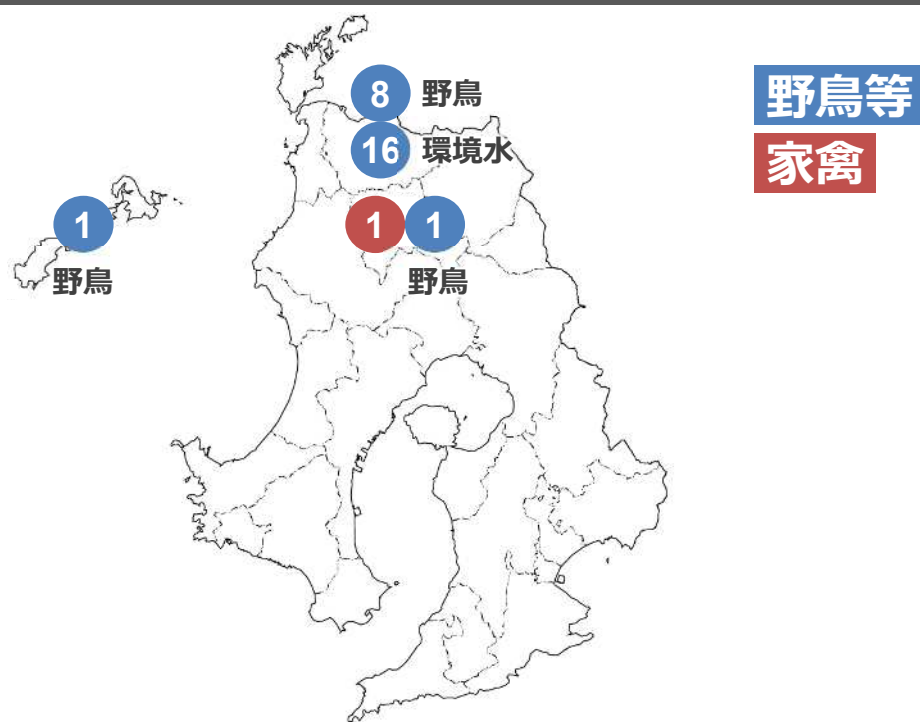
小澤 真

鹿児島大学 共同獣学部 病態予防獣医学講座

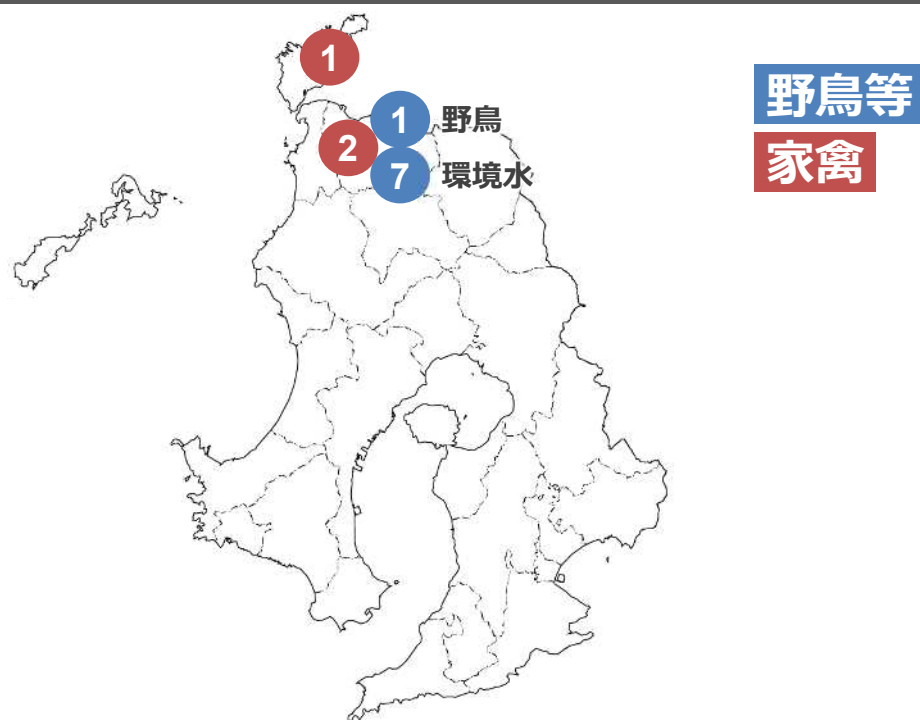
高病原性鳥インフルエンザ国内発生件数の推移



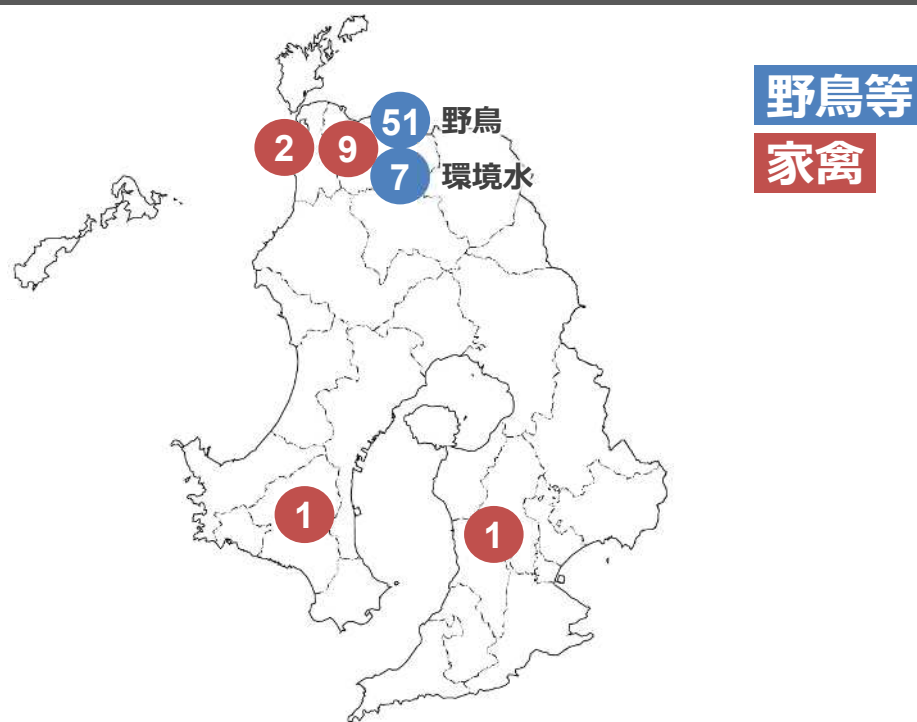
2020年度の鹿児島県内発生状況



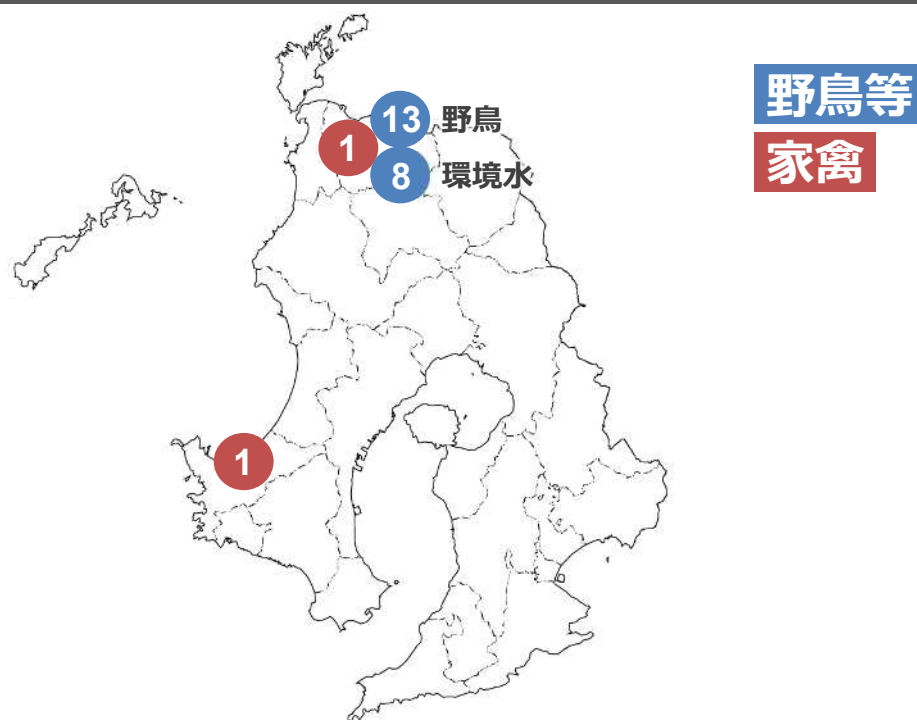
2021年度の鹿児島県内発生状況



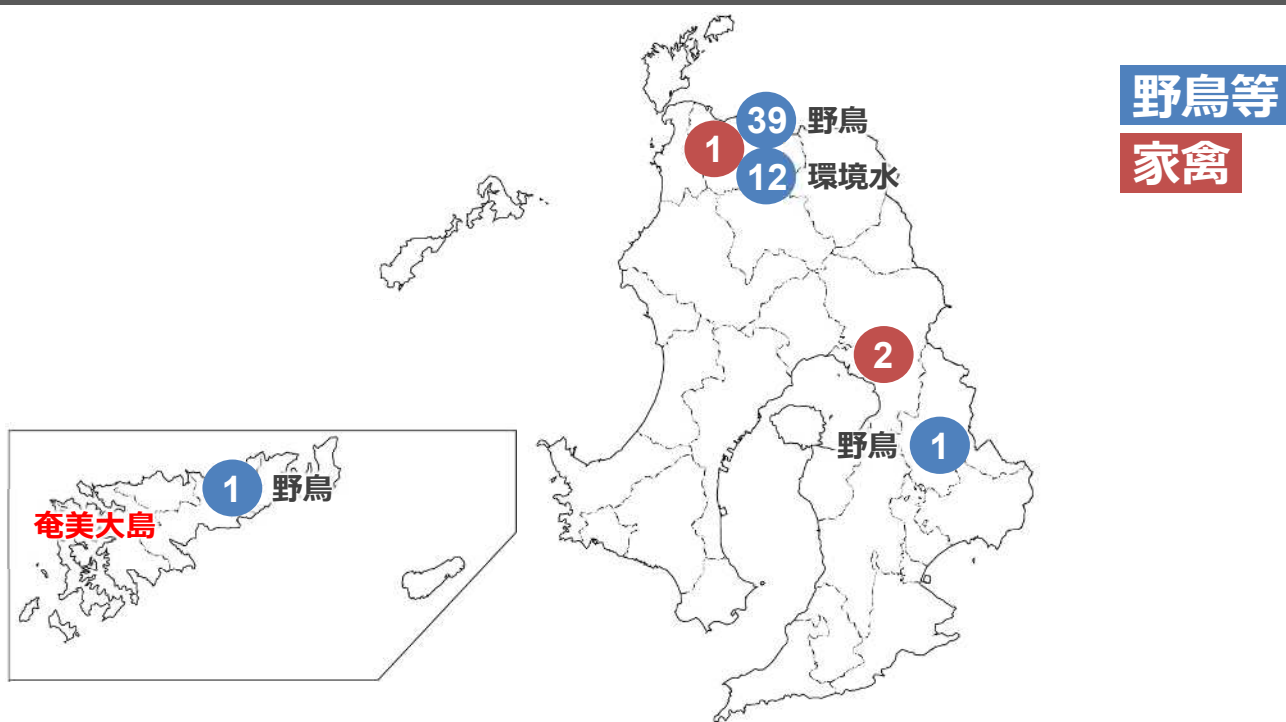
2022年度の鹿児島県内発生状況



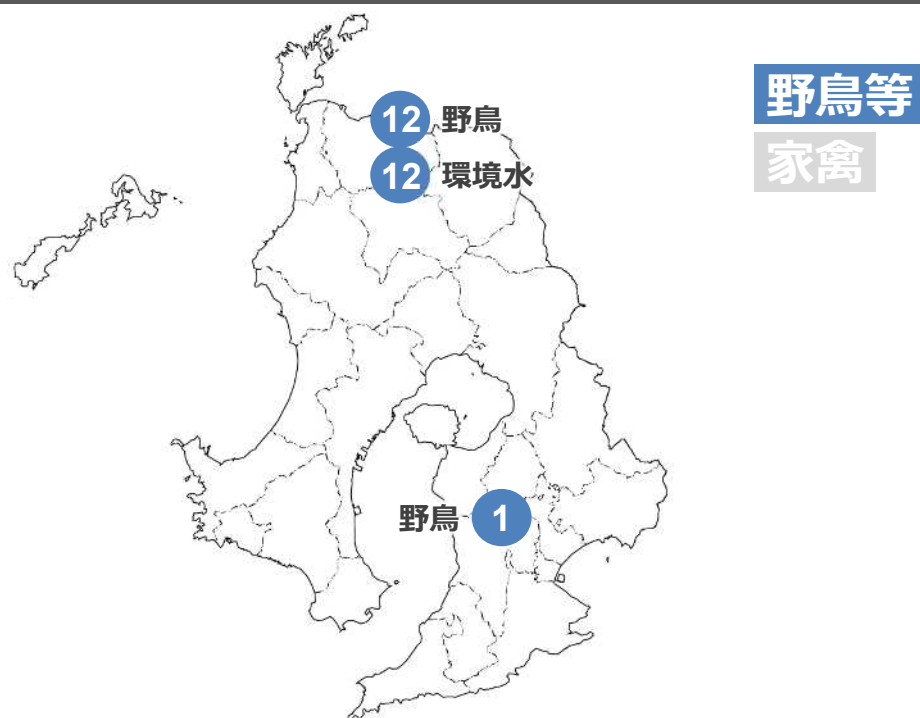
2023年度の鹿児島県内発生状況



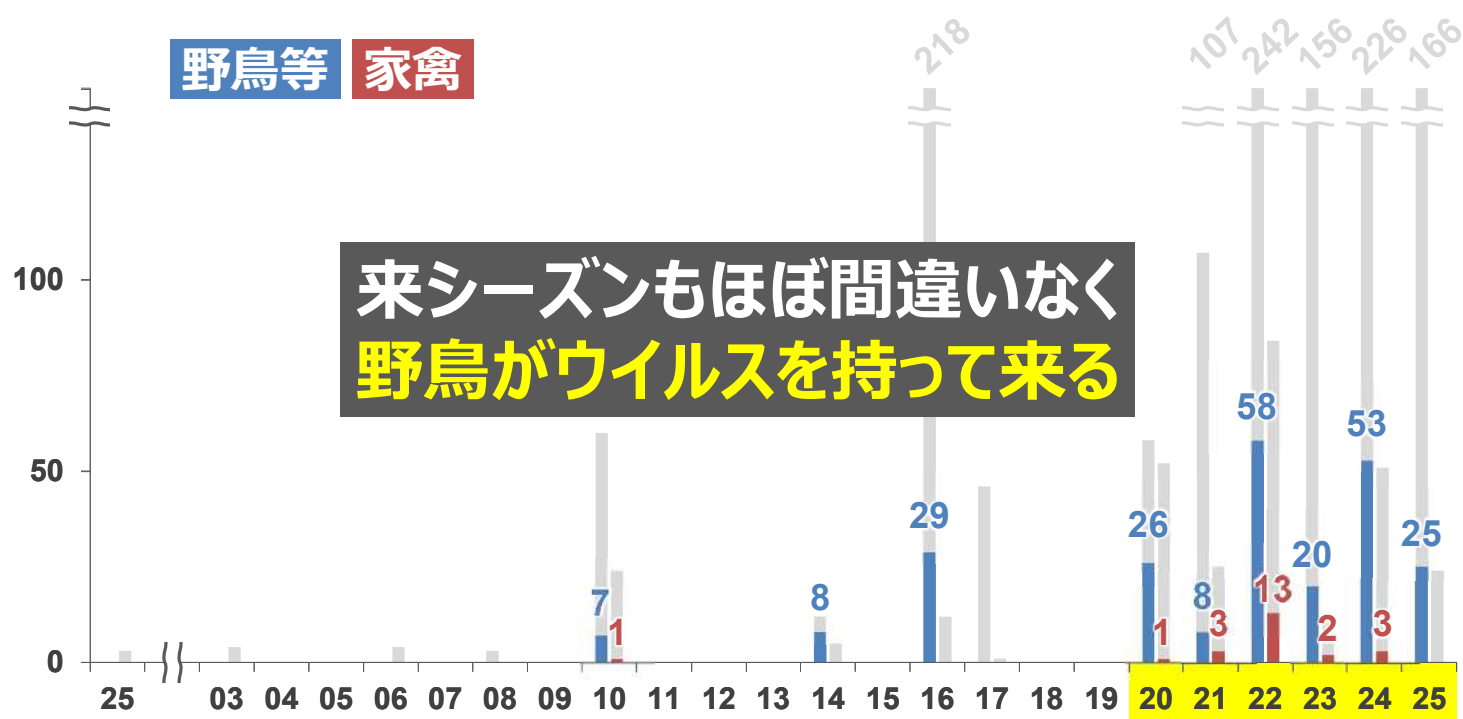
2024年度の鹿児島県内発生状況



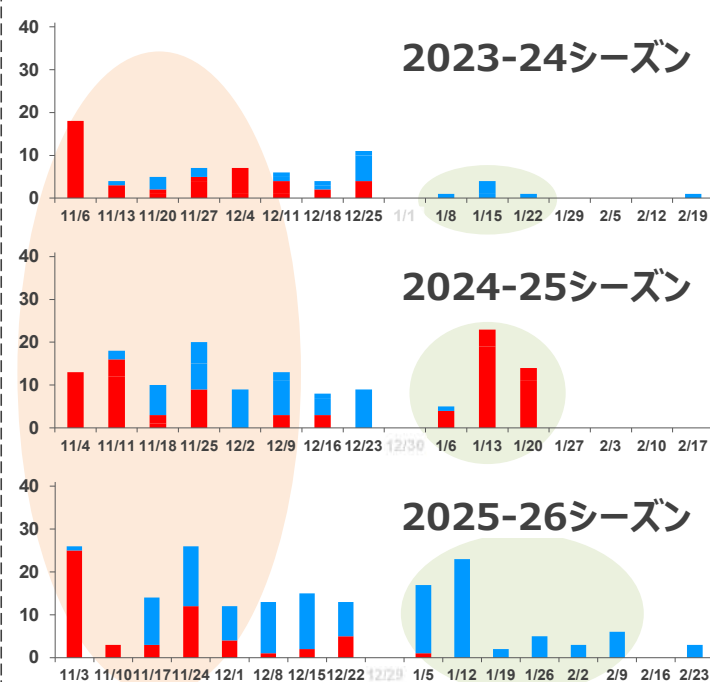
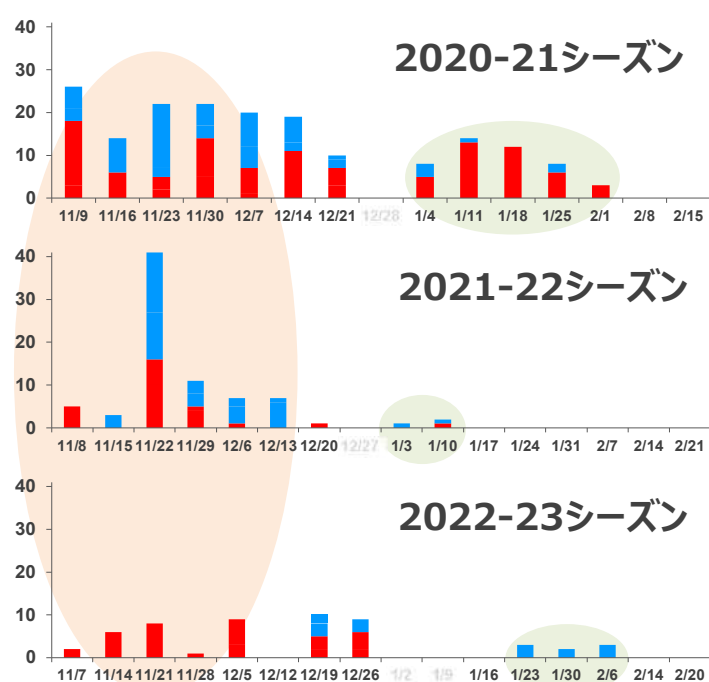
2025年度の鹿児島県内発生状況



高病原性鳥インフルエンザ県内発生件数の推移



出水平野・環境水からのウイルス分離株数の推移



出水平野・環境水からのウイルス分離株数の推移



農林水産省・R8年度疫学調査報告書 提言

1. 異状の早期発見・早期通報
2. 定期的な勉強会等を通じた全関係者による飼養衛生管理基準の遵守
3. 大臣指定地域：地域での発生に備えた事前準備
4. 地域一体となった野鳥誘引防止対策・・・**ため池対策**など
5. 大規模農場：分割管理の導入推進・・・導入の検討を義務化
6. 既発農場：再発防止対策・・・外部専門家も活用
7. あひる・うずら農場：異常兆候の早期発見努力
8. 農林水産省等の関係機関：情報収集・研究調査体制の強化
9. 哺乳類（特に米国で報告のある乳牛）における感染動向の注視

R8年度 出水平野ため池調査



マルイ農協グループ

AdvanSentinel



国立大学法人

鹿児島大学

KAGOSHIMA UNIVERSITY

報道関係各位

株式会社 AdvanSentinel
国立大学法人鹿児島大学
マルイ農業協同組合

渡り鳥が飛来する湖沼水での鳥インフルエンザウイルス検出情報を

養鶏事業者の防疫に活用する共同研究を開始

株式会社 AdvanSentinel（本社：大阪市、代表取締役社長：西田 都、以下 AdvanSentinel）、国立大学法人鹿児島大学（大学長：井戸 章雄、以下鹿児島大学）およびマルイ農業協同組合（鹿児島県出水市、代表理事組合長：高松 信吾、以下マルイ農協）は、渡り鳥が飛来した湖沼水からの高病原性鳥インフルエンザウイルス（以下 HPAI ウイルス）の検出が養鶏場における防疫に与える有用性についての共同研究を開始しました。

R8年度 出水平野ため池調査

- 【目的】 1. ツルねぐらが整備される**11月初旬より前**のウイルス調査
2. 出水平野の**より広範囲**におけるウイルス調査

【材料】 出水平野のため池**10カ所**の環境水
(10月第2週～2月第4週の4.5カ月間・ほぼ毎週)

- 【方法】 ツルねぐらと同じ遺伝子検査（核酸濃縮 ⇒ PCR検査）
- **あらゆる鳥インフルエンザウイルス共通遺伝子**の検出
 - **高病原性鳥インフルエンザウイルス遺伝子**の検出

R8年度 出水平野ため池調査

ため池 ID	1週 10/13	2週 10/20	3週 10/27	4週 11/3	5週 11/10	6週 11/17	7週 11/24	8週 12/1	9週 12/8	10週 12/15	11週 12/22	12週 12/29	13週 1/5	14週 1/12	15週 1/19	16週 1/26	17週 2/2	18週 2/9	19週 2/16	20週 2/23
1	27.85	ND	ND	ND	ND	30.76	32.96	ND	ND	ND	31.03		ND	ND	ND	34.56	31.45	ND	ND	ND
2	ND	ND	ND	27.71	27.81	32.27	32.20	ND	23.72	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-
3	ND	29.57	29.70	27.88	25.48	ND	31.88	28.88	28.52											
9	ND	ND																33.69	32.61	ND
10	ND	ND	ND	ND	ND	34.51	ND	ND	ND	ND	31.12		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	32.29
17																				31.49
21	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
22	28.32	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	32.29		ND	ND	ND	ND	ND	32.19	ND	ND
23	ND	ND	31.57	29.06	30.56	31.85	28.37	ND	28.50	25.58	30.77		31.17	30.92	29.67	30.57	30.33	30.74	29.57	ND
E	ND	ND	30.25	27.16	29.01	29.17	29.28	30.63	30.24	29.36	29.81		33.09	33.60	32.75	32.88	31.63	32.15	31.10	ND

10月中旬には鳥インフルエンザウイルス襲来

調べた全てのため池で鳥インフルエンザウイルスを検出

- 鳥インフルエンザウイルス共通遺伝子：カモ類等によるウイルスの持ち込み
- 高病原性鳥インフルエンザウイルス遺伝子：多様なウイルスと一緒に混在

R8年度 出水平野ため池調査

ため池 ID	1週 10/13	2週 10/20	3週 10/27	4週 11/3	5週 11/10	6週 11/17	7週 11/24	8週 12/1	9週 12/8	10週 12/15	11週 12/22	12週 12/29	13週 1/5	14週 1/12	15週 1/19	16週 1/26	17週 2/2	18週 2/9	19週 2/16	20週 2/23
1	27.85	ND	ND	ND	ND	30.76	32.96	ND	ND	ND	31.03		ND	ND	ND	34.56	31.45	ND	ND	ND
9	ND	ND	ND	ND	ND	ND	29.47	31.82	ND	33.47	30.99		ND	ND	32.00	ND	ND	33.69	32.61	ND
10																				32.29
17																				31.49
21	ND	ND	ND	ND	ND	32.27	ND	ND	ND	ND	ND		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
22																				
23	ND	ND	31.57	29.06	30.56	31.85	28.37	ND	28.50	25.58	30.77		31.17	30.92	29.67	30.57	30.33	30.74	29.57	ND
E	ND	ND	30.25	27.16	29.01	29.17	29.28	30.63	30.24	29.36	29.81		33.09	33.60	32.75	32.88	31.63	32.15	31.10	ND

ツルねぐらだけでなくため池にもウイルス浸潤

カモ類は夜行性：カモ類を見かけない水辺もリスク要因

ため池対策は重要：水抜き・防鳥資材の設置など

地域・自治体の理解と協力が不可欠

農林水産省・R8年度疫学調査報告書 提言

1. 異状の早期発見・早期通報
2. 定期的な勉強会等を通じた全関係者による飼養衛生管理基準の遵守
3. 大臣指定地域：地域での発生に備えた事前準備
4. 地域一体となった野鳥誘引防止対策・・・ため池対策など
5. 大規模農場：分割管理の導入推進・・・導入の検討を義務化
6. 既発農場：再発防止対策・・・外部専門家も活用
7. あひる・うずら農場：異常兆候の早期発見努力
8. 農林水産省等の関係機関：**情報収集・研究調査体制の強化**
9. 哺乳類（特に米国で報告のある乳牛）における感染動向の注視

「スマート畜産技術のイノベーション・普及に関する検討会（第2回）」の開催について

ゲスト

印刷

令和8年8月28日

農林水産省

○第2回は、スマート畜産技術を用いた高病原性鳥インフルエンザ等の疾病対策について検討。

○鈴木農林水産大臣が出席し、令和8年9月2日（水曜日）に開催。

農林水産省は、官民連携してスマート畜産のイノベーションを進めるとともに、開発された技術の普及を図るため、農林水産大臣出席のうえ、令和8年9月2日（水曜日）に「スマート畜産技術のイノベーション・普及に関する検討会（第2回）」を開催します。第2回検討会のテーマは、スマート畜産技術を用いた高病原性鳥インフルエンザ等の疾病対策です。

1.概要

日時：令和8年9月2日（水曜日）15時30分から17時まで

場所：農林水産省本館3階第一特別会議室

出席者：

農林水産大臣 鈴木 恵和

鹿児島大学 共同獣医学部 教授 小澤 真氏

（株）ハイテム 専務取締役 安田 幸太郎氏

（株）NTT e-Drone Technology サービス推進部 普及部門長 和田 哲大氏

（株）日立ソリューションズ・クリエイト 経営戦略統括本部 チーフDXコンサルタント 小澤 佳子氏

AguSophy LLC CEO 池口 厚男氏（元宇都宮大学農学部教授）

一般社団法人AIロボット協会 CTO 松嶋 達也氏

農林水産省及び農研機構関係者 等

HPAI発生鶏舎の気流シミュレーション



マルイ農協グループ

HYTEM

Panasonic

パナソニック環境エンジニアリング株式会社

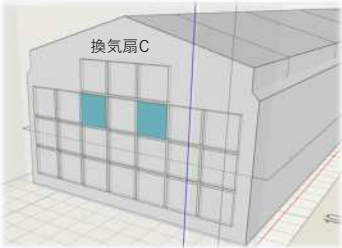
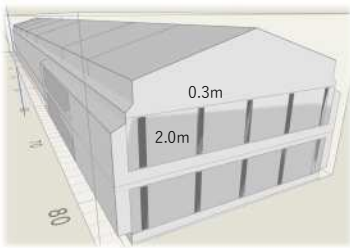
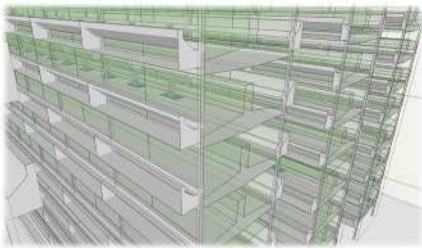
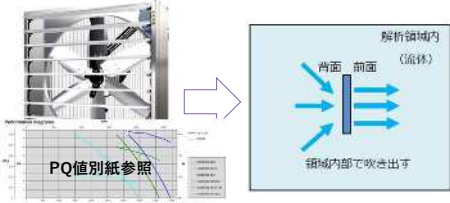
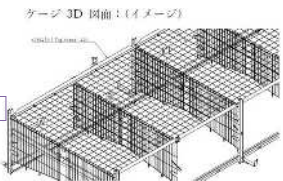


国立大学法人

鹿児島大学

KAGOSHIMA UNIVERSITY

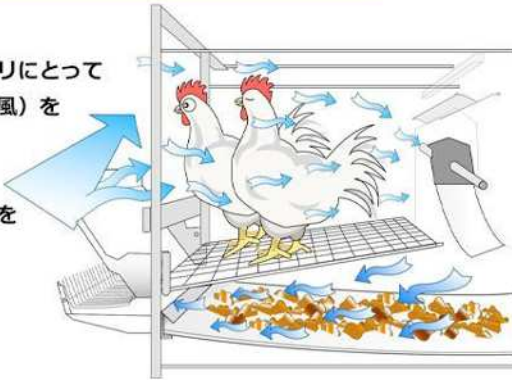
HPAI発生鶏舎の気流シミュレーション

モデル	 排気側妻面	 入気側妻面	 鶏舎内部 (ケージのみモデル化)
オブジェクト設定	ペリコリファン EWS 53/1  【ファンパネル】 解析領域内部で流体を背面から吸い込み、 前面へ吹き出す 面風速は一定 「流速」「流量」「P-Qカーブ」	クーリングパッド  【開口・圧損パネル】 解析領域内部に孔あき開口をつくる ガラリのような通風抵抗・整流効果を模擬する 拡散物質の捕集効果を与える 開口率・抵抗係数、通過した気流の方向など	ケージ網  ケージ 3D 図面 (イメージ)

HPAI発生鶏舎の気流シミュレーション

3 エコブリーズ 糞乾電気代エアパイプ比 1/3
 ウインドレス鶏舎総電気代半減
 プラス ケージ内ブリーズ（微風）快適環境

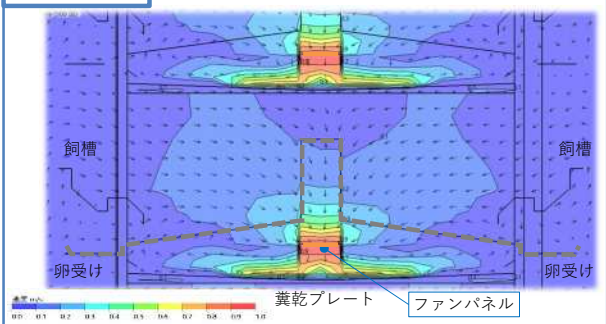
エコブリーズブレードは、トリにとって
 快適なケージ内ブリーズ（微風）を
 作り出します
 上下がベルトで囲まれている
 ケージ内に、さわやかな環境を
 作ります



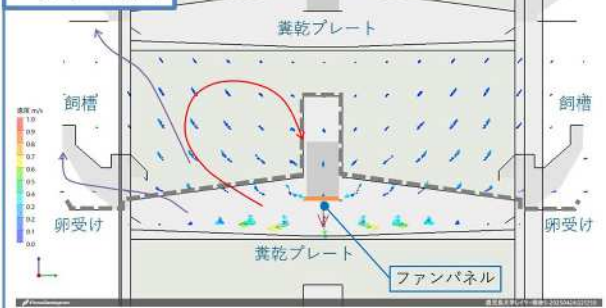
(株)ハイテムHP

モデル化

風速分布図

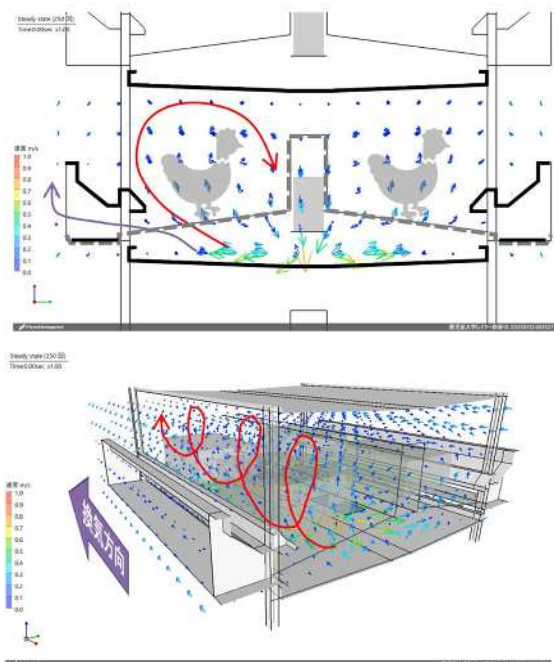


ベクトル動画

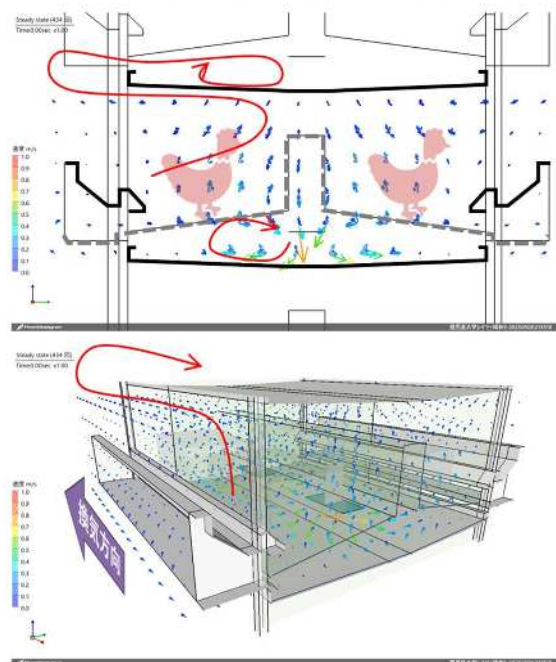


HPAI発生鶏舎の気流シミュレーション

鶏発熱：なし

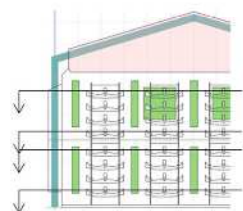


鶏発熱：考慮

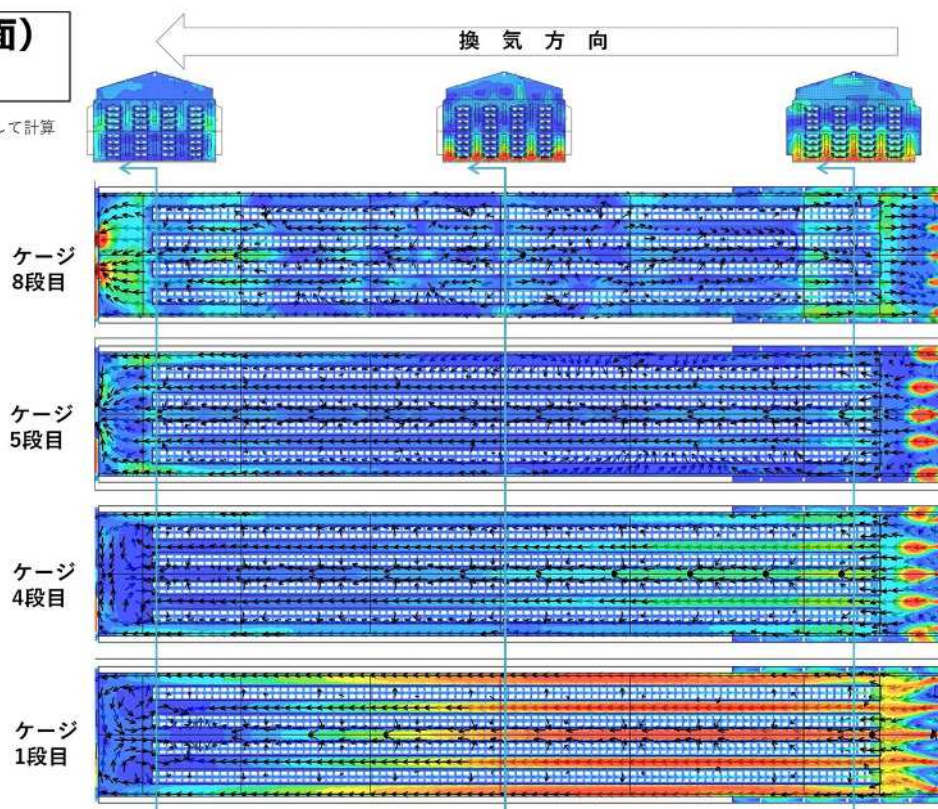
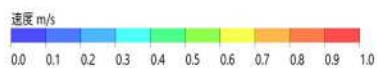


鶏舎内 風速分布（平面） （ベクトル動画10倍速）

※すべてのケージを詳細モデルにして計算

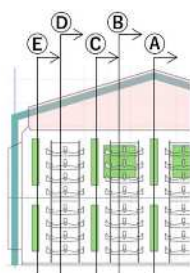


断面位置図

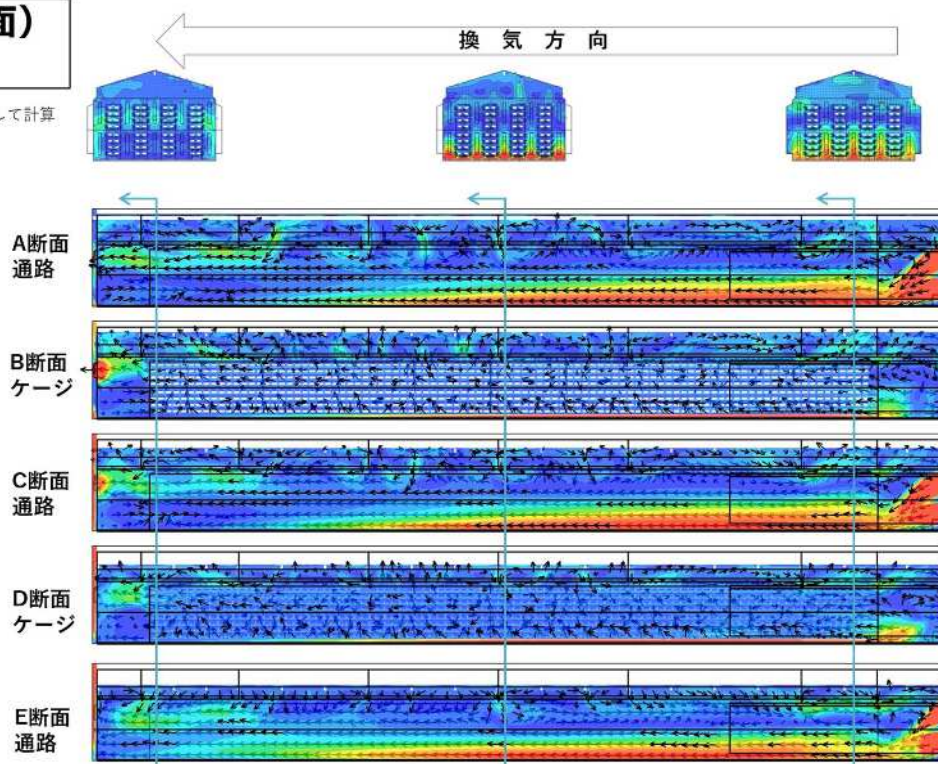


鶏舎内 風速分布（断面） （ベクトル動画10倍速）

※すべてのケージを詳細モデルにして計算

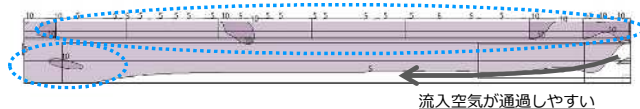


断面位置図



HPAI発生鶏舎の気流シミュレーション

流入した空気が到達しにくい

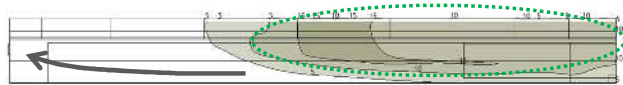


空気齢(分)・SVE3

室内に流入した空気が任意の地点に到達するまでの時間を表します。空気齢の値が大きいほど流入した空気が到達しにくいことを表します。

流入空気が通過しやすい

空気が排出されにくい



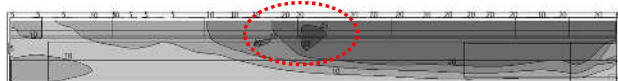
空気が排出されやすい

空気余命(分)・SVE6

任意の地点において、空気が排出されるまでの時間を表します。空気余命の値が大きいほど、空気が排出されにくいことを表します。

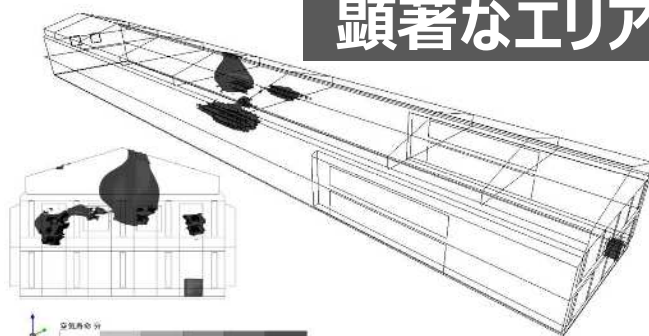
**空気の滞留が
顕著なエリア**

空気が動きにくいエリア



空気寿命(分)

空気齢(分)と空気余命(分)を足合わせた値で、任意の地点を通過する空気の室内における滞在時間を表します。流入した空気の「到達しにくさ」と「排出されにくさ」を総合的に評価することが可能です。

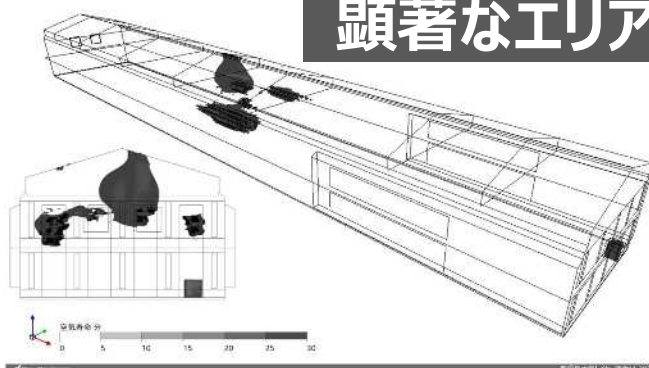


HPAI発生鶏舎の気流シミュレーション

**空気の滞留が予測されるエリアと
死亡鶏発見エリアが一致**

**空気の滞留が
顕著なエリア**

- ✓ 縦：中央付近
- ✓ 横：鶏舎中央の列
- ✓ 高さ：上部



塵埃を介したウイルス侵入リスク

鶏舎フィルターからのウイルス検出 発生農場における気流シミュレーション



理論上のリスクは十分高く**対策が必要**

- 入気口の対策：フィルター・消毒液噴霧 など
- 滞留エリアの対策：消毒液噴霧・飼育制限 など
- 気流の対策：稼働換気扇のローテーション など

環境省・野鳥対応技術マニュアル R8年変更点

1. 野生の哺乳類の検査基準等の明確化
2. 野鳥監視重点区域内における調査の省略
3. 海鳥の集団繁殖地におけるHPAIに係る大量死対応の考え方
4. HPAI発生時の自治体による情報発信・注意喚起
5. 検査優先種の更新
6. 糞便調査の資料の分離
7. 図表も含めた情報編の更新

異常・死亡野鳥の発見主体を
行政職員から**地域住民**へ

死亡野鳥発見時の県内連絡先

地域振興局・支庁	担当課・係	電話番号	所在地	管轄市町村
鹿児島地域振興局	林務水産課林務係	直通099-805-7362 (林務係直通)	鹿児島市小川町3-56	鹿児島市、日置市、いちき串木野市、三島村、十島村
南薩地域振興局	林務水産課林務係	直通0993-52-1335 (林務係直通)	南さつま市加世田東本町8-13	指宿市、枕崎市、南九州市、南さつま市
北薩地域振興局	林務水産課林務係	直通0996-25-5509 (林務係直通)	薩摩川内市神田町1-22	薩摩川内市、出水市、阿久根市、さつま町、長島町
姶良・伊佐地域振興局	林務水産課林務水産係	直通0995-63-8159 (林務水産係直通)	姶良市加治木町諏訪町12	霧島市、姶良市、伊佐市、湧水町
大隅地域振興局	林務水産課林務第二係	直通0994-52-2162 (林務第二係直通)	鹿屋市打馬二丁目16-6	鹿屋市、垂水市、曾於市、志布志市、大崎町、東串良町、錦江町、南大隅町、肝付町
熊毛支庁	林務水産課林務係	直通0997-22-1133 (林務係直通)	西之表市西之表7590	西之表市、中種子町、南種子町
(熊毛支庁屋久島事務所)	農林普及課林務係	直通0997-46-2253 (林務係直通)	熊毛郡屋久島町安房650	屋久島町
大島支庁	林務水産課林務係	直通0997-57-7285 (林務係直通)	奄美市名瀬永田町17-3	奄美市、大和村、宇検村、瀬戸内町、龍郷町、喜界町、徳之島町、天城町、伊仙町、和泊町、知名町、与論町

まとめ

来シーズンも**発生リスクは高い**

自治体を巻き込んだ**ため池対策**

塵埃を介した侵入リスク：**入気口** x **滞留空気対策**

異常・死亡野鳥発見時は**積極的に通報**



飼養衛生管理基準の遵守は**大前提**
早めの準備で侵入防止・**早めの通報**で蔓延防止

死亡した野鳥を見つけたら

死亡した野鳥は素手でさわらないでください。

野生の鳥は、体内や羽毛などに細菌や寄生虫などの
病原体があることがあります。

同じ場所で沢山の鳥が死亡していたら
お近くの県地域振興局等や市町村役場にご連絡下さい。

野鳥は様々な原因で死亡します

野生の鳥は、餌が採れずに衰弱したり、環境の変化に耐えられず死んでしまうことがあります。野鳥が死んでいても、鳥インフルエンザを直ちに疑う必要はありません。

鳥インフルエンザウイルスの人への感染について

鳥インフルエンザウイルスは、感染した鳥との濃密な接触等の特殊な場合を除いて、通常では人に感染しないと考えられています。
日常生活においては、過度に心配する必要はありません。

【連絡先】

地域振興局等	担当課	電話番号	対象市町村
鹿児島地域振興局	林務水産課	099-805-7362	鹿児島市、日置市、いちき串木野市、三島村、十島村
南薩地域振興局	林務水産課	0993-52-1335	枕崎市、指宿市、南さつま市、南九州市
北薩地域振興局	林務水産課	0996-25-5509	阿久根市、出水市、薩摩川内市、さつま町、長島町
姶良・伊佐地域振興局	林務水産課	0995-63-8159	霧島市、伊佐市、姶良市、湧水町
大隅地域振興局	林務水産課	0994-52-2162	鹿屋市、垂水市、曾於市、志布志市、大崎町、 東串良町、錦江町、南大隅町、肝付町
熊毛支庁	林務水産課	0997-22-1133	西之表市、中種子町、南種子町
屋久島事務所	農林普及課	0997-46-2253	屋久島町
大島支庁	林務水産課	0997-57-7285	奄美市、大和村、宇検村、龍郷町、喜界町
瀬戸内町駐在	—	0997-72-0185	瀬戸内町
徳之島駐在	—	0997-83-1354	徳之島町、伊仙町、天城町、和泊町、知名町、与論町
県庁	自然保護課	099-286-2616	—